



70
ANNIVERSARY

11月号
学校だより (226号)

平成 30 年 10 月 31 日
横浜市立中川中学校
校長 栗原 公明

横浜市都筑区大柵町 240 番地 Tel 045-592-3701 Fax 045-593-5942

E-mail:y2nakaga@edu.city.yokohama.jp

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nakagawa/>

《学校教育目標》

信頼と共感 ～夢をもって挑戦し続ける生徒たち～

◇育てたい生徒像◇

- 【知】自ら考え行動し、意欲的に学び続ける生徒
- 【徳】ルールやマナーを守り、人を思いやる優しい生徒
- 【体】心身をきたえ、たくましく生きる生徒
- 【公】役割を自ら求め、地域や社会に貢献する生徒
- 【開】共生・多様性を尊重し、未来を創る生徒



中川中スクールキャラクター
「みどりん」

実りの秋になりました

副校長 坂井 雅代

街路の花水木の赤い小さな実が秋の深まりを感じます。先日本校にとってこの季節最大の行事、文化祭が行われました。私にとっては初めて聴く中川中学校合唱コンクール。どの学年、どのクラスも本番までの努力が実を結び、人の心を打つ完成度の高い合唱でした。何よりも生徒のみなさんが合唱に取り組んでいるときの、あの真剣なまなざしに大変感激しました。

こうした自分の得た感動を言葉にして表そうとしても、今回の合唱コンクールがそうであったように感動が大きいほど、それを表現する言葉がうまく見つけれないのも事実です。そうしたとき私は、きまって紙の辞書をめくりまわります。自分の思いにぴたりとあった言葉に出会うこともあれば、見つけれずに力尽きることもあります。でもそんな時間が私には必要であり、またかけがえのない時間でもあります。辞書といえば、今年度岩波書店が『広辞苑』を10年ぶりに大改訂して話題となりました。近年パソコンや電子辞書等の普及に押されて、紙の辞書のページを繰る姿を見かけなくなってきたように思います。ツールのみでなく、言葉自体も変容し、聞き慣れない言葉が身のまわりに増えているような気がします。私はこうした時代だからこそ、生徒のみなさんには、言葉と真剣に向き合い、自分らしい表現に出会ってほしいと思っています。

また、10月27日から11月9日までは秋の読書週間です。「ホッとひと息、本と一息」というスローガンにあわせて、学校図書館からみなさんにお勧めの本が紹介されています。2018年上半期でもっとも売れた本に「漫画 君たちはどう生きるか」(著者吉野源三郎)があります。読んだ人もいるかもしれませんが、勇気、いじめ、貧困…。昔もいまも変わらないテーマに真摯に向き合う中学生の姿が描かれています。私も中学生のときに文庫で読んだ記憶がありますが、今回改めて話題の漫画版を読み直してみました。当時から名著の一つとされ、今も人生の指針にされている方も多いと聞きます。1937年に書かれた作品が80年の時が経った今も色あせることなく読み継がれ、現在ベストセラーになっていることは感慨深いです。その中の一節に、叔父さんが主人公コペル君に『人としての立派さ』について次のように語る場面があります。

「肝心なことは、世間の目よりも何よりも、人間の立派さがどこにあるか、自分自身の魂で知ることだ。ものごとの良し悪しを判断するにも、胸から湧き出る生き生きとした感情に貫かなければならない。」と。時が経っても人として大切にすべきことは変わらないのだということを改めて感じました。

秋の夜長に、自分の心を豊かにする本を読んでみてはいかがでしょうか。

第51回 文化祭

10月18日・19日の2日間にわたり、文化祭が開催されました。『Play 2 Peace』という今年のスローガンは、『Play』（奏でる）、『2』（2本の指で“ピース”）、

『Peace』（平和）を表していますが、スローガンが意図するとおりに、合唱では美しいハーモニーが体育館に響き、体育館内の皆さんに大きな感動を与え、平和で穏やかな気持ちになりました。また2日目の『Play』は、文字通りアクティブな場面が多く、生徒たちは大いに笑い、楽しみました。

クラス合唱に向けて、「ああしよう」「こうしよう」と意見交換し、時には意見がぶつかることもあったと思いますが、みんなで協力して合唱を作りあげた意義は大変大きいと思います。近年、「3年生の合唱はすごい」というフレーズが合言葉のようになっていますが、今年もどのクラスの合唱もすばらしく、これも中川中の伝統となっています。



3年生学年合唱『歌え 歌え』

受賞クラス紹介

	最優秀賞	優秀賞
1年	2組	5組
2年	6組	5組
3年	2組	7組



3年最優秀賞 2組『宇宙戦艦ヤマト』



中川中学校区児童生徒交流日



合唱練習を熱心に見学する6年生

10月11日は、横浜市で企画している「児童生徒交流日」ですが、本校は学区3小学校の児童の皆さんに来校してもらい、合唱コンクールに向けて取り組んでいる生徒のようすを見てもらいました。昨年度からこの見学内容にしましたが、児童の皆さんからは、「自分たちで、意見を出しあいながら練習している」「迫力があり、美しい合唱」など、さすが中学生という感想が多数寄せられました。

合唱見学後は、体育館にて生徒会本部役員が、中川中学校について、中学校の1日の生活や部活動、委員会活動など、小学生にわかりやすく説明をしていました。

全国中学生人権作文コンテスト 県大会最優秀賞

2年3組 坂 征明 さん

全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会において、本校2年 坂 征明さんが、「横浜人権擁護委員協議会長」を受賞、県大会に推薦され、「最優秀賞」を受賞しました。さらに、県代表として全国中央大会に推薦されました。おめでとうございます。

本校では「いじめゼロ」に向け、学校教育目標の『信頼と共感』、そして生徒会活動方針の『Pay Forward』を取組の両輪として、生徒の豊かな心づくりを目指しているところですが、今回の作品の題名は、この『ペイ・フォワード (Pay it Forward)』です。

『ペイ・フォワード (Pay it forward)』

昨年の11月、学校の朝会で「ペイ・フォワード」という言葉を知った。初めて聞いた言葉だった。意味は、「恩送り」だ。誰かから受けた恩を直接その人に返すのではなく、別の人に送ることらしい。僕は、普通は恩は恩をくれた人に返すと思うが、どうして別の人なのかなと思った。

ペイ・フォワードの意味を知った翌日は人権週間があり、学校からの手紙にそのことが書かれてあった。手紙を読んだ母は、「これ、経験あるよ」と言って、話をしてくれた。それは、赤ちゃんの頃の僕が関係していた。僕には、6つ上の兄がいる。僕は早生まれで、兄が小学1年生になったばかりの頃は生後1か月だった。入学式前は入学準備や予定日より3週間早く生まれた僕の世話で忙しく、入学式後も小学校生活が始まったばかりの兄の世話と生後1か月の僕の世話でとても忙しかったらしい。

行事の日は、僕を家に残すことはできないから僕を連れて出席していた。参観日は教室に入っって兄を見たかったが、僕が途中で泣き出したら迷惑になると思い廊下から見ていたらしい。母が、「征明が生まれた時、お兄ちゃんが1年生じゃなかったらそままでたいへんじゃなかったかも」と言った。母にとって初めての子である兄が小学校1年生だから、兄だけでなく母も小学校のことがよくわかっていない。不安だし、小学校に慣れるのに必死な時期だ。兄が2年生以上だったら、もう兄も母も小学校に慣れていて、友だちが何人もできていて、僕のせいで行事にきちんと参加できなかったとしてもそこまで気にならなかったのではないかということだった。小学校入学前後は、生まれたばかりの子がいない保護者でも大変な時期だ。僕はとても忙しい迷惑な時に生まれてしまったのかなと、少し責められている感じがしていやな気持ちになった。

母は、学級懇談会の自己紹介では生後1か月の子がいることを話し、PTA 活動には出来る範囲で参加したりしていったらしい。すると、母に声をかけて助けてくれる人が出来ていったらしい。中でも、友だちのお母さんには沢山助けてもらったらしい。3人の子のお母さんで、3人目の子が兄と同じクラスだった。ベテランのお母さんだから、とても頼りになって色々すぐに気が付いてくれたらしい。母が何かを頼む前に声をかけてくれる人で、手伝ってもらったことの一つ一つは小さいことだけど、母にとってはとてもありがたかったことらしい。そこで、「いつもお世話になってばかりですみません。どうお返しをしたらいいの？」と母が言ったことがあった。すると、「何もしなくて大丈夫。私も、沢山の人に手伝ってもらってきたし。その度に『すみません』と言ってたんだけど、毎回『いいの、いいの』って言われて。征明君が大きくなったら、今度は坂さんが小さい子を連れて来た人を見た時にお手伝いしてあげたらいいんじゃない？ 私には、しなくていいから。私も先輩お母さんから『私には何もしなくていいから、小さい子がいるお母さんを助けてあげて』って言われたから」と、さらっと言われたらしい。あまりにもさらっと言うので、なんてかっこいいのだろうと思っただけ。

そういう経験をしている母は、本当に言われた通りにやっていると思う。例えば、動物園に行った時、赤ちゃんを抱っこしてベビーカーを持って階段を下りているお母さんに、「大変ですね。お手伝いしましょうか？」と声をかけていた。

手紙には、「多くの人と関わることで、人は学び、助けてもらい、周りのために働き、成長して行きます」とあった。母の行動を思い出すと、本当にそうだなと思った。また、「この人権週間だけでなく、いつもこの心をもっていられたらよいですね」とあった。母のような行動をする人が多くなれば、小さな子がいる人や体の不自由な人でも、みんな安心して楽しく毎日過ごせるだろうなと思った。そして、「君たちの学年としての恩送りは今年先輩たちから伝えられ学んだことを、君たちの後輩にきちんと受け渡していくことです」とあった。母を見習いきちんと行動し、後輩たちにきちんと受け渡そうと思った。

ペイ・フォワードの意味を知った時は、どうして別の人に恩を？と思ったが、今はとても良いことだと思っている。逆のことはすると、いじめや戦争などが起きるのだと思う。負の連鎖や悪循環などの言葉のようになっていく。だが、世界中の人がペイ・フォワードを意識して行動すれば、正の連鎖や好循環が起きていくと思う。

『全国いじめ問題子どもサミット』に横浜市代表として本校生徒参加

都筑区横浜こども会議で話し合われた中川中学校区ブロックの取組が評価され、区代表、そして横浜市代表となり、1月26日に文部科学省講堂で行われる『全国いじめ問題子どもサミット』に本校代表生徒3名が参加することになりました。

【11月行事予定】スクールカウンセラー来校 2日、9日、16日、30日

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	木	3年個人面談	16	金	後期中間試験
2	金	3年個人面談	17	土	
3	土	土曜授業参観 バザー	18	日	
4	日	牛久保東地域清掃	19	月	後期中間試験(3年のみ)
5	月		20	火	情報モラル講習会 専門委員会
6	火	1年読み聞かせ 3年進路説明会	21	水	文化祭実行委員会
7	水	1年読み聞かせ 市総体閉会式	22	木	全体朝会(人権)
8	木	1年職業講話 2年職場体験 3年市学力学習状況調査	23	金	勤労感謝の日
9	金	1年特別時間割 2年職場体験 3年市学力学習状況調査	24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	
12	月		27	火	
13	火		28	水	中央委員会
14	水	学習質問日	29	木	
15	木	後期中間試験	30	金	

《12月のおもな予定》

- 1日(土) ふれあいフェスタ
 4日(火)~7日(金) 個人面談
 10日(月) 個人面談(3年のみ)
 11日(火) 生徒会朝会(保健)
 ※12月27日(木)・28日(金)は閉庁日となります。
- 17日(月) 学校運営協議会(委員による授業参観)
 21日(金) 大掃除
 25日(火) 全校集会
 26日(水) 冬季休業(~1月6日)



頑張る“なか中生”!



《敬称略》

《活動報告》

- ◆野球 秋季市大会 vs 関東学院 1-8
- ◆サッカー 横浜グループリーグ
vs 聖光学院 0-0 vs 東山田中 1-3
- ◆バスケットボール 男子市新人戦 Dブロック大会
1回戦○vs 六浦中 2回戦●vs 神奈川朝鮮
- ◆男子バレー 区大会優勝
- ◆女子バレー 区大会優勝、県大会出場
(現在、市ベスト32以内)
- ◆バドミントン 男子区大会個人戦
・ダブルス3位 清水 翼、加藤颯弥組
・シングルス優勝 新田怜央 準優勝 鎌田七都
- ◆剣道 市新人戦(女子)、県強化練習会出場
- ◆吹奏楽、演劇、美術、科学、ESS、写真、英文書道

※文化祭では、
すばらしい発表ありがとうございました。

《区大会日程》

- ◆野球 11月7日 フレッシュマン如月杯
vs 川崎市立菅生中
- ◆サッカー 11月4日 横浜Aブロック
vs 大鳥中 vs あざみ野中
- ◆男子バレー 10月28日 市大会(中川中)
11月3日 市大会(早淵中)
- ◆女子バレー 10月28日 市大会(岡津中)
- ◆バドミントン
10月28日 区大会女子個人(東山田中)
11月4日 女子強化リーグ(仲尾台中他)
11月11日 男子強化リーグ(中川中)
- ◆剣道 11月18日 強化練習会(鶴見大学)
- ◆陸上 10月27日 市総体駅伝(八景島)
11月3日 市秋季陸上大会(三ツ沢)
11月23日 市ロードレースの部(八景島)
- ◆吹奏楽 11月3日・10日 アンサンブルコンテスト
11月23日 つづきウォーク&フェスタ
12月 1日 ふれあいフェスタ演奏
- ◆写真 12月 1日 ふれあいフェスタ展示
My つづき一番コンテスト参加
- ◆茶道 11月3日 バザーにてお茶会(コミハ 和室)